

都議会-NEWS

東京都の今をお届けする、都議会議員・上田令子の東京都政報告です。



Renaissance & Revolution >>> 『&』 vol.12

上田令子 検索 twitter f

上田令子的考察① オリンピック

自然壊して溪流下り!?

葛西臨海公園カヌースラローム競技場問題

[写真提供]①日本野鳥の会東京/飯田陳也 ③葛西東渚・鳥類園友の会/大野 新



①ウソ



②葛西沖のスズガモの群れ



③アズマヒキガエル

ボクらはみんな
いきている。

2020年東京オリンピック開催にあたり、江戸川区選出の都議として看過できぬのが葛西臨海公園カヌースラローム競技場問題。多田正見江戸川区長も「あの公園ができたときから…半分壊してしまうようなことをすれば、区民が黙っているはずがない」とかつて発言しています。

競技人口は数値的にどう想定?と問うたところ、「維持管理費の検討を行っていく(今さら!?)」、「人口増に関する数字的な把握はしていない(ニーズもなく作るの!?)と、大丈夫!?な回答が。

「隣地の天然ガス発電所予定地に変更しては?」との提案に対しては、「(公園の方が)大会後に都民が水辺に親しむのにふさわしい」とか。

予定地には井の頭自然文化園で大切に飼育されている「アズマヒキガエル」が、土の中で今も冬眠しているのです。カエルが水辺に親しみ生きる自由はどうなるの…。

開園から25年育まれてきた水辺の命を守るために

ほんと、あーいえばこういう状態は双方不幸。当時の東京都による右記の言葉にすべてが集約されておりますので皆様ご一読の上、水掛け論はやめて、何が幸いかを原点に帰って再検討してまいりましょう!

ちなみに、決定後の会場変更は前例があり手続上可能。あしからず!

「葛西沖開発計画は、東京で人と海がふれ合える“最後の砦”として、葛西の海岸や三枚洲を住みかとする鳥や海の生き物を守り、人・水・緑がかなでる新しい街を作りたいという多くの人たちの願を受けて検討かつ決断されたものである。」

95年発行 東京都建設局「葛西沖開発土地区画整理事業誌」より



候補地説明をただけで江戸川区が「了解」したとは!?

「いきさつ」とは、埋立開発によって失われた“なぎさ”を取り戻そうと、72年から実に23年の歳月をかけ、住民、江戸川区、当時の東京都により艱難辛苦の末、都立葛西臨海公園を95年に完成させたこと。

08年に都が「江戸川区に対しても説明し理解を得ている」と答弁したことに、区が「了解」したとされる正確な日時や議事録等の有無を文書質問で確認したところ、いずれも不明。「候補地とするとの説明」だったとし、区側の「了解」を証明することができませんでした。

また、競技場建設後の維持費は?

みんなの党 Tokyo

『みんなの党 Tokyo』はみんなの党の都議会での新会派名です。

うえだれいこ・プロフィール

1965年生。台東区立黒門小、文京区立第六中、都立三田高、白百合女子大文学部卒。外資系生保等数社を経て起業も。07~12年江戸川区議会議員、13年東京都議会議員初当選。環境・建設委員会委員長。

早 いもので、昨年の東京都議会議員選挙で初当選させていただいてから、半年あまりが経ちました。その間、東京パラリンピック・オリンピックの2020年の開催が決定。ようやく落ち着いて都政の課題に取り組もうと思った矢先に、前知事の「5000万円」資金提供問題が発生しました。都議会は紛糾し、連日の報道で日本中を巻き込む大騒動となり、都政史上前代未聞の3年連続で知事選を行う事態に発展。(3回の選挙で総額約130億円の都税が使われること大変心苦しく思っております。)かくして、舛添要一都知事誕生とあいりました。

上田令子は、政局ではなく「YesはYes!」「NoはNo!」の議会活動を展開してきましたので、どなたが知事になろうとも、これまで通り「税金の無駄遣い・不正・癒着・天下りと闘う母さん」をモットーに行動してまいります。

それでは、大変お待たせいたしました半年間の活動をご報告いたします!



東京から虐待・不審者犯罪・DV・ストーカーをなくせ! 都議会でいよいよモノ申す!

■平成25年12月6日(金)開催 東京都議会第四回定例会

上田令子初の一般質問 敢行!

新人初登板! 新聞報道に! 警視總監・教育長から

シッカリお約束もいただきました!

後を絶たない子ども・女性を狙った悪質な犯罪行為には喝!

●警察と学校の連携確認

登下校時の児童生徒を狙った許しがたい不審者! 下半身露出・身体さわり・つきまとい・声かけ等、子どもたちの心の衝撃は強い上に、このような犯罪者は累犯を積み重ね、重大な犯罪に発展するおそれがあり、撲滅に向けての取り組みが早急に求められるところです。警察・学校・地域が一体となって一網打尽に検挙へと結び付けて欲しい! と区議時代からの懸念事項をようやく質問できるに至りました。加えて、いじめを含む学校での傷害事件、児童生徒の問題行動における警察と学校の連絡、協力体制についても質しました。

・警視總監答弁・ 学校との連携は、警察官OBをパイプ役として活用したスクールサポーター制度、健全育成に関する相互連絡制度を04年より運用し、児童生徒の非行防止・安全確保のための活動と情報共有を図っている。各警察署には子ども・女性安全対策班「さくらポリス」が派遣され予防活動も推進。子ども見守り活動も構築・拡大を図っている。

・教育長答弁・ 児童生徒の安全を守るため、学校が警察と緊密に連携することが重要。生命・身体に関わる場合は直ちに警察に通報するよう区市町村教育委員会へ指導。今後も警察と連携し安全の確保に万全を期す。

【虐待・DV・ストーカー相談機関一覧】

虐待	児童虐待 SOS	03-5662-5115
	夜間対応	03-5937-2330
e-mail / S0000213@section.metro.tokyo.jp		
DV	江戸川区女性センター	03-5676-2459
	東京ウィメンズプラザ	03-5467-2455
	警視庁総合相談センター	03-3501-0110
ストーカー	小松川警察署生活安全課	03-3674-0110
	葛西警察署生活安全課	03-3687-0110
	小岩警察署生活安全課	03-3671-0110

みんなの党 Tokyo

http://your-party-tokyo.jp/

みんなの声を
お寄せ下さい!

都議会-NEWS 春 2014

発行人/東京都議会議員(江戸川区選出)上田令子
〒132-8501 東京都江戸川区東小松川4-57-12
Tel&Fax 03-5678-4707



●**ストーカー対策を要望、対策本部設立！早速検挙へ**
 昨年秋に三鷹市で発生した痛ましい女子高生ストーカー殺人事件にあたり、ストーカー・DV対策についても関係機関が一丸となつての喫緊の対策を求めたところ、奇しくも同日ほぼ同刻、警視庁が「ストーカー・DV総合対策本部」設置を発表。当時の葛西警察署長が専任理事官に。発足一ヶ月で391件の相談が寄せられ、ストーカー規制法違反容疑で20人の逮捕者が出ました！

区長会も求める児童相談所の区へ移管

10年1月江戸川区で発生し、自治体対応の重大な遅れが指摘された小学1年男子児童虐待死事件から4年が経ちました。再発防止を踏まえ区長会では昨年11月に児童相談所の移管モデルの最終報告をまとめ、東京都との検討を早急に開催したいとしています。12年度の虐待相談対応件数は約1万件、虐待と判断されたのは3705件。待ったなしの虐待根絶へ向け児童相談所の区への移管、家庭への支援強化、養護施設の切迫状況を鑑みた里親・養子縁組の推進を求めました。

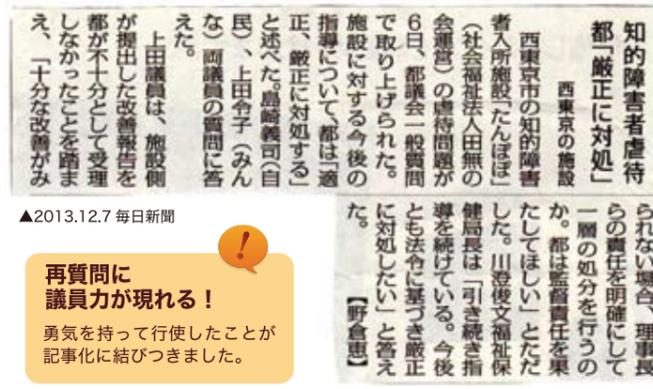
●**福祉保健局長・総務局長答弁** 各関係機関と援助方針等を確認し連携強化を進め児童虐待への対応力向上、支援に取り組む。子どもは本来、家庭的な環境のもとで愛情に包まれながら健やかに養育されることが望ましいことから都は家庭的養護（養育家庭・養子縁組里親）の取り組みを進めている。養育家庭の登録数を増やすため理解促進を図る。移管については、専門性と、都内外にある施設入所調整ができる体制が不可欠など課題があり、今後も区と幅広く議論。

障がい者施設での虐待も許しません！徹底追及が新聞報道に

昨年来、西東京市の知的障がい者入所施設虐待事件が繰り返し新聞報道となり、都でも異例の厳格な行政処分

を実施しました。同施設では02年にも施設運営上のトラブルが発生し、幾度となく東京都への通報・告発があり、第三回定例会にて文書質問をしてはいましたが、その後の都の改善指導に疑義を抱くに至りました。虐待事件のあった長崎県島原市の施設では人事を一新しましたし、虐待死のあった千葉県袖ヶ浦市の事件では、法人理事兼センター長も過去に暴行を加えていたことも判明しており、正直トップが変わらないと組織ってカイゼンって難しい。入所者の人権を最優先するために「改善が図られなかった場合、一層の処分や役員解職勧告は？」とまで再質問で踏み込み、新聞報道となりました。

●**福祉保健局長答弁** 施設には必要な指導を、施設職員へは研修を実施。改善が図られない場合の対応について、今後とも法令に基づき厳正に対処。



東京都認証保育所の補助金格差 保育士処遇について認め、国へ働きかけ

江戸川区では、公立園で0歳児保育を実施していないにも関わらず23区で唯一、認証保育所利用者補助を実施せず保護者から不満の声があがっております。認証保育所は、認可園との補助の総額が違ふことから保育料が割り高となること、よって4月になると認可園へ子どもが移ってしまうこと、認可園には助成される障がい児の補助金や国による保育士処遇改善の上乗せ相当額が認証保

育所は対象外…などの課題を抱えております。このような制度の綻びに斬り込み、保育士処遇につき国に改善要求するなど、一部矛盾を認めたものの…保護者負担はやっぱり江戸川区に決定権があるようです…とほほ。

予算

みんなの党Tokyo平成26年度予算要望

～しがらみゼロだから言える誰しも納得の内容！～

議員から知事への予算要望というと選挙で応援してくれた各種団体への“見返り”や「あれもこれも」と選挙目当てのお手柄合戦になりがちなのが指摘されますが、私たち『みんなの党 Tokyo』は都民の税金をムダにしない都政運営を目指し、行政改革や経費削減まで斬り込む予算への提案を実施。今回、上田令子は予算特別委員会のメンバー（予定）。“伏魔殿”とも呼ばれる東京都庁の内側を丹念に調べ、是々非々で評価と追及をしていきますので乞う、ご期待！
 以下が予算要望のポイントラインナップです。（みんなの党 Tokyo のホームページに全文掲載）

子育て

- 保育の質を確保しつつ、保育事業への民間参入を促し待機児童問題を解消
- 利用者助成（保育パウチャー）を導入し、株式会社やNPO等の保育事業への参入を促す
- 病児・病後児保育は区市町村、事業者とともに実施しやすい制度設計を
- 妊婦健診補助、妊娠・出産への支援の充実

教育

- 教育長や学校長・教員への民間人登用、学校長への人事権付与、教育改革を検討・推進
- 学年で区切らない少人数学習・習熟度学習ができるような支援制度の整備

行財政改革

- 都方式公会計の透明性を更に高め情報公開、オープン

●**福祉保健局長答弁** 国は、保育士資格の有無に関わらず認証保育所の職歴を算定の対象外とし整合がとれていない。認証保育士処遇が不十分なこと等国制度への位置づけを提案要求。保護者や障がい児保育に対する補助は区が判断すべきもの。（上田注：都区区へは包括支援をしていて、その税金の使途は区に委ねられているということです）

- データ化の徹底
- プライマリーバランスを均衡させるため、財政健全化条例を制定
- 契約・入札に関しては「指名競争入札」を改め、原則、一般競争入札へ
- 「新銀行東京」は、まず無担保無保証を廃止し、将来的には売却清算を
- 中小企業融資については、貸し倒れ・倒産リスクをふまえた適正な制度へ
- 血税6兆6千億円余のつかい途＝都民の声が反映されるオープンな予算編成へ
- 外郭団体は、まずは全体像を把握し不要な組織は徹底的に整理
- 都議会の「見える化」を推進。常任・特別委員会のインターネット中継と録画配信

医療

- 医療への株式会社参入、混合医療解禁などの規制緩和や、ICT化促進
- 都立および東京都所管病院を中心として、かかりつけ医との役割分担で地域医療の連携強化

福祉

- 子どもから大人までを対象とした発達障害対策の取り組み
- 多様なニーズに対応できる民間障害者支援施設への推進費補助
- 介護職員らへのたんの吸引等、都主催の研修カリキュラムの充実拡充を図ること

【上田令子活動報告】

2013 7月

●初登庁早々改善要求!? (笑)
先生と呼ばないで!
 議会棟と庁舎棟には長～い渡り廊下があり、職員さんは都度足を運ばれ「先生」と都議を呼ぶ!! 電話やメールで極力仕事を済ますことと「上田議員」でとお願いしました。



activities report

2013 10月

●全国障がい者スポーツ大会
都議として視察
 関係各位の並々ならぬ尽力にも、3割程度しか観客席が埋まっていないのが残念。パラリンピックに向けて動員ではなく国民・都民が自発的に参加する土壌作りの必要性を痛感しました。



～世のため都のため人のため。

2014 1月

●井の頭池かいぼり作業
自転車大漁?
 建設局所管の井の頭池。現場至上主義の上田自ら作業着姿で外来種のブルーギルを大量捕獲! 在来種のヌマチチブも1匹確保。自転車250台には仰天! 自然文化園も視察。



1/250の自転車

あいも変わらず東奔西走!～

2014 2月

●情報公開の実際
都庁で海苔を収穫!?
 障がい者施設虐待事件の追跡調査として情報公開請求。書類が黒いのは個人情報保護のためですが、件数など断定できるので収穫あり。議場で華々しく発言するよりも裏方作業こそ大事!



保護か? 公開か! 苦悩の産物